

環境デュー・ディリジェンスに関する手引書（案） 全体の方向性

手引書構成案	記載内容案
1. はじめに	
2. 本手引書の目的	
	<ul style="list-style-type: none"> •手引書の目的： DDの理解・取り組みのためのガイド •想定する利用者
3. デュー・ディリジェンス規制に関する国際的動向	日本企業に関連する規制動向を記載
4. デュー・ディリジェンス・プロセスの概念	手引書案の精緻化
5. デュー・ディリジェンス・プロセスの考え方	手引書案の精緻化
(1)OECDガイダンスのDDプロセス	
(2)DDプロセスを適用する際の留意点	
6. バリューチェーンマネジメントへのDDプロセス適用	具体的なリスクの例示
(1)上流への適用	<ul style="list-style-type: none"> •SCMにおいてDDを行う際の特質 制約条件： SC全体把握、リスク評価が困難等 制約条件の中で、DDプロセスの注意義務を果たすには何が必要か
(2)下流への適用	<ul style="list-style-type: none"> •使用・消費段階、廃棄段階 •使用段階： 製品設計でどう設計するか（エネルギー消費等） •廃棄段階： 設計段階の対応、廃棄物の負荷のLCA評価やマニフェストで把握等 •環境負荷を低減するための管理のポイント
7. リスクマネジメントとの関連付け	
	<ul style="list-style-type: none"> •BCP、BCMにDDプロセスを組み込む際のポイント •取締役会のリスクマネジメント： 情報を吸い上げるには、権限委譲・管理、会社のリスクマネジメントへのESGリスク組み込み（取り上げるべきリスク及びリスクの定義の整理）
8. 重要な環境課題へのDDプロセス適用	
(1)課題別の留意点	<ul style="list-style-type: none"> •「停止・防止」ができない環境課題の場合、どこまで対応すればよいか •国際的に言われている環境課題の注意ポイント •構想に対し委員のご意見をもとに追加
(2)事例	<ul style="list-style-type: none"> •（1）が対応できている事例、DDが取り上げられている事例
9.参考文献・付録	
(1)参考文献	<ul style="list-style-type: none"> •手引書の直接の参考文献
(2)付録	<ul style="list-style-type: none"> •（1）以外の、理解を助ける関連情報 •実務の参考になるような既存ツールの紹介